### JHFレポート 209号

# JHFREPORT





2015年は世界選手権イヤー。パラグライディングXC、ハンググライディング、両世界選手権が終了した。(パラグライディング世界選手権より)

### 2015年度JHF事業計画と予算

JHFが公益社団法人となって5年目の2015年度がスタートしました。今年度事業計画の策定にあたり、次のように事業計画と予算を決定しました。

フライヤー増加と安全性向上を柱に、 今年度も事業を行っていきます。

### 事業方針

フライヤー会員数はほぼ下げ止まった状況にあり、以前の著しい減少傾向からは脱却しました。しかし、月によって

多少の増減はあるもののフライヤー登録数は少しずつ減り続けています。これはフライヤーの高齢化による自然減を補うだけの新規フライヤーの加入がないことが原因と思われます。

これまで学生連盟に対する援助を増やすなどして若手フライヤーの増加に努めてきましたが、さらに卒業しても飛び続ける人が増えるような施策をとっていきます。

新しいフライヤーを増やし、JHFとして

フライヤーの入り口をになう教員のレベルアップに対する教育や支援を行っていきます。

ハング、パラがメディアに露出すること が増えるように広く情報発信を続けてい きます。

安全面ではベテランパイロットも対象とした安全セミナーを今後も積極的に開催して会員のフライト技術のブラッシュアップに努力し、教本の作成や改訂を進め安全性の向上に努めていきます。



FOR OLL SPORLS OF JOPON
JHFレポートはスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

### 事故ゼロのゴールデンウィークに

ゴールデンウィーク目前。クロスカントリーに挑戦している人も、冬眠から覚めたばかりの人も、無理せず、余裕を持ってフライトを!/今年はJHF役員改選の年。理事または監事への立候補締切は5月8日です。

### 事業の具体的内容

- 1.理事会・事務局の事業
- (1)愛好者増加の推進
- (2) 寄付・助成金獲得の努力
- (3)ハング・パラグライディングのイメージ 向上・宣伝告知
- (4)全国のフライヤーの実態把握と全対 策検討
- (5)委員会の主体的活動のバックアップ
- (6)ボランティア制度の活用促進
- (7)フライト中の情報交換を可能にする 無線機の普及
- (8)フライヤーのための損害保険の告知と普及
- (9)スクールのための施設賠償・損害保険の告知と普及
- (10) 第三者賠償責任保険の付保継続 の努力
- (11)その他定款の定める管轄事項
- 2.常設委員会・事務局 (広報出版) の 事業

- (1)安全性委員会
- 1 事故情報の収集と管理
- 2 事故調査活動
- 3 ハンググライダーの機体整備票の運
- 4 機体登録制度の推進
- 5 安全セミナー開催のためのプログラ ム作り・全国展開
- 6 DHV、PMA訪問、新たにパラモーターの認証テスト機関へのコンタクト
- (2)教員・スクール事業委員会
- 教員・助教員更新講習会の開催及び支援
- 2 HG教本制作
- 3 PG教本改訂 学科試験見直し
- 4 教員検定の開催及び検定内容の 見直し
- 5 検定員検定内容の見直し
- 6 安全セミナープログラムの作成 (安 全性委員会と合同)
- 7 スクール支援のための事業企画と 実施(スクールグッズの安価制作、ス

- クール保険の見直し検討、JHFレポートとJHFウェブの活用)
- (3) HG競技委員会
- 1 ルールブックの改定
- 2 クラス 1 日本選手権の開催 2015 年 9 月19日~ 23日 茨城·足尾
- 3 HGシリーズとクロスカントリーリーグ の活性化と支援
- 4 HGシリーズとクロスカントリーリーグ の管理運営
- 5 HG競技委員会ホームページの管理 運営
- 6 ライブトラックの検討
- (4) PG競技委員会
- 1ルールブックの改定
- 2 WEB事務局/ホームページ管理
- 3 Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリー グ管理
- 4 J2リーグの活性化・支援
- 5 2015年PGXC日本選手権の開催 開催地·時期未定
- 6 2015年PGアキュラシー日本選手権

収入 (単位:	円)	
1 会費等	39,264,000	収入の割合
❷技能証の発行に基づく収入	4,407,000	<b>3</b> 4.51%
❸競技に関する収入	900,000	前期繰越金
4教本等の頒布に伴う収入	750,000	0.03%
<b>⑤</b> 検定会参加費	150,000	<b>6</b> 5.95%
<b>⑥</b> 補助金	3,700,000	0.049/
<b>⑦</b> 機体登録費	20,000	63.18%
<b>3</b> その他	2,800,000	4 1.21%
前期繰越金	10,153,343	<b>3</b> 1.45%
合 計	62,144,343	<u> </u>
支 出 (単位:	円)	<b>2</b> 7.09%
❶会員サービスのために	25,672,500	
❷JHFの維持運営のために	12,630,000	
❸ 都道府県連盟の補助のために	6,910,000	支出の割合 ① 0.32%
4公益事業の推進のために	1,000,000	150%
⑤世界選手権、アジア選手権や	1,550,000	<u> </u>
検定会のための積立		9 1.29% <b>(b</b> 0.81%)
⑥広報・普及活動のために	6,000,000	
▽日本選手権や国体デモスポのために	2,600,000	<b>8</b> 2.05% <b>6</b> 0.24%
❸競技のために	1,270,000	<b>2</b> 4.19%
⑤よりよい教習環境のために	800,000	
❶委員会活動のために	1,000,000	<b>©</b> 9.67%
●補助動力のために	200,000	<b>5</b> 2.50% — 41.36%
❷学生の補助のために	300,000	1116670
③事故調査や安全のために	984,000	4 1.61%
⅓海外との交流のために	500,000	900504
り制度のために	500,000	<b>3</b> 11.13% 20.35%
®総会のために	150,000	
合 計	62,066,500	

- の開催 岩手県GETOエリア、10 月10日~12日
- 7 2015年PGアキュラシー世界選手権 (インドネシア) に選手団派遣8月 9日~17日
- 8 2015FAIワールドエアーゲームズ (アラブ首長国連邦、ドバイ)PGアキュラシー競技に選手派遣 12月1日~12日
- 9 ホームページの充実 (タイムリーな 大会結果のアップ)
- (5)制度委員会
- 1 JHFに関わる制度の定款、規約、規 程、規則等の文書管理
- 2 役員選挙に関するアドバイス
- 3 理事会諮問事項の対応
- 4 IPPIカードに準じたHG技能証規程 の改定
- 5 HG教本の全面改訂作業に協力
- 6 パラ補助動力、MPG教本(副読本) に伴う技能証規程の改定検討
- 7トーイング技能証規程の研究
- 8 公益財団法人日本体育協会の組 織の研究
- 9 JHFブロック制度の研究
- 10 FAI技能記章規程の改訂検討
- 11 47都道府県連盟の会則調査

- (6)補助動力委員会
- 1 MPG補助動力教本 (副読本) の制作 (編集最終段階・作成)
- 2 トーイング教本作成準備(トーイング 体験実施予定)
- 3 MPGの事故や苦情の対応 (MPG の連絡網や対応の速さを追求)
- 4 フライヤー会員登録の推進と安全講習会の開催(会員登録を増やすための講習や大会企画を予定する)
- 5 アキュラシー大会協力など
- (7)ハングパラ振興委員会
- 1 HGのパンフレット(紹介版)作成(継続)
- 2 今飛んでいる人が飛び続けられる 環境作りの検討 以下の項目を含む 普及振興の前提となる、安全に関す る他委員会の活動との連携 学生が卒業後も飛び続けられる環

境作り(学連に協力) 長年飛び続けている一般フライヤー

- の経験談を共有する場の検討 3 HG教本全面改訂作業に協力
- 4 その他普及振興に関する活動
- (8)事務局(広報出版活動)
- 1 JHFウェブサイトの運営 (スクール紹

介サイトを含む)

- 2 JHFレポートの発行
- 3 白書「HG・PG JHF活動実績」の 編纂と発行
- 4 関連媒体への情報提供 ハング・パラグライディング関連雑誌 に情報を提供する。
- 5 一般媒体等への情報提供 ハング・パラグライディングの紹介、イ ベントやエリアの紹介などを積極的 に行う。
- 6 スクール等への情報提供
- 7日本のHG·PGの歴史編纂事業
- 3.その他この法人の目的達成に必要な 下記の事業を行う
- (1)技術に関する事業
- (2)教育に関する事業
- (3)安全に関する事業
- (4)競技に関する事業
- (5) その他普及啓蒙に関する事業

### 予算

2015年度予算の収入と支出の内訳を円グラフにしました。会費や申請料などがJHFのどのような活動に活かされていくのか、ご覧ください。

### 役員の任期満了に伴う改選について

### JHF役員選任実行委員会

JHF役員の任期は、定款第27条により 「選任されてから2年目の定時総会の 終結の時まで」と定められており、本年 6月23日の定時総会において、現役役 員(理事・監事)の任期満了に伴う改選 が行われます。

前号でもお知らせしましたが、役員選 任はJHF役員選任規約に基づいて下 記のスケジュールにて行われます。

JHFの日頃の活動を理解し、運営を積極的に担っていただける方を広く募ります。ハンググライディング・パラグライディングの未来のために、空の仲間のために活動したいという方、ぜひ立候補をお願いします。

なお、定款および上位法である法人 法に基づく電磁的手段による会議を積極的に活用する目的で、電子メールおよび電話による円滑かつ確実なコミュニケーションが可能な方であることを、理事の具体的な資質として求めることになりました。 [スケジュール]

- ●役員選任公示日(立候補受付開始) 4月13日(月)午前10時
- ●立候補締切日

5月8日(金)午後5時(立候補が郵 送の場合は、当日消印有効とする)

- ●立候補者公示日 5月25日(月)
- ●定時総会(投票日) 6月23日(火) [立候補の資格]

立候補届出時に有効なJHFフライヤー登録者で、かつ住民票所在地の都道府県連盟(JHF正会員)に所属し推薦を受けた方なら誰でもJHF役員に立候補する資格があります。

\*公益認定前の定款には第13条3項で「この法人の事業に関する営利を目的とする企業の役員であってはならない」とありましたが、この条項が無くなりました。

### [定数]

役員定数は、理事6名以上9名以下、 監事1名以上2名以下です。 選任のための役員立候補者の募集 活動や選任事務は役員選任実行委員 会が実行し、総会当日に正会員の投票 により選任決議を行います。

開票後、過半数の賛成票を得た立候補者のうち、役員定数内の得票上位者が役員として議決されますが「理事のうちいずれか1名とその親族その他特別の関係ある者の合計数は、理事現在数の3分の1を超えてはならない」「公益法人を除くこの法人以外の団体の理事又は使用人、その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数は、理事現在数の3分の1を超えてはならない」という条項に抵触する場合、該当立候補者の中から得票上位者を役員とします。

立候補に必要な書類等詳細はJHF ウェブサイトでご確認ください。お問い合 わせはJHF事務局まで。

### 2015年CIVL総会レポート

報告:デレゲート 岡 芳樹

国際航空連盟(FAI)の国際ハンググライディング・パラグライディング委員会(CIVL)の総会が、例年通り2月に開催され、日本を代表するデレゲート(委員)として、岡芳樹さんが日本航空協会より派遣されました。以下は岡さんの報告です。

期日:2015年2月21日・22日 場所:セルビア、ベオグラード 参加国:41ヶ国(委任状含む)

### 議決事項:

### アンチドーピング罰則

アンチドーピングに違反した場合の罰則は、2年間ではなく4年間に延長された。

#### ワールドエアーゲームズ

WAG (2015年12月1日から12日までUAEのドバイで開催) には23種目、750名の選手が参加の予定。CIVL関連ではPGアクロで20名、アキュラシーで20名。

### バッジ

新しく衣替えしたS7(全種目共通のS7、HGとPGのXCに共通のS7A &B、PGアキュラシーのS7C、記録バッジのS7D、PGアクロのS7E)の完成型を2015年の秋までに作成する。

#### 陪審員日当

陪審員の日当を廃止する(2015年5月1日以降指名されたものから適用)。 カテ1のプレ大会

カテゴリー1大会に対してプレ大会 が義務付けられているが、総会あるい は理事会で承認された場合はプレ大 会をしなくても良いこととなった。これは、 2015年12月に開催されるWAGに沿う 形で提案された事項。

#### HG&PGディプロマ

現在ある「HGディプロマ」を「HG& PGディプロマ」と名称を変更する。

### ランキング

年度ごとのWPRSランキング (10月1日から翌年の9月30日までの大会によるWPRSポイント ((時とともに減額しない))によるランキング)を創設する。

#### ライブトラックでスコアリング

ローカルレギュレーションに明記する ことで、HGおよびPGのXCカテゴリー 1大会で、ライブトラックによるデーター を使用してスコアリングができることと なった。

#### HGおよびPGXCカテ1大会

HGおよびPGXCカテゴリー1大会における変更等は以下のとおり。

- □2015年5月1日以降、気圧高度と GPS高度を記録できる計器のみがスコ アリング用として認められる。また、記録 がスタートしたら気圧高度を変更することができない構造でなければならない。
- □レコードインターバルは、5秒を超えないこと。
- □ログデーターに署名できないタイプの ロガーは、ロガーから直接ログをダウン ロードすること。
- □REST DAYとOFFICIAL PRACTICEに関する提案は取り下げられた。

### 世界選手権参加資格

PGXC世界選手権の参加資格として、これまでは「世界WPRSランキング 400位以上、あるいはFAI公認大会で 45点以上を獲得している」であったのを、500位と40点に変更する。(資格の対象となる期間を2年間から3年間にする件は否決された。)

#### 大陸選手権参加資格

PGXCヨーロッパ選手権では、「ヨーロッパWPRS400位以上あるいはFAI公認大会で45点以上」、その他の大陸では「世界WPRSで1500位以上あるいはFAI公認大会で20点以上」を獲得していることが参加資格であったが、それを「大陸選手権では大陸WPRSランキングで500位以上、FAI公認大会で20点以上獲得」に変更する。(資格の対象となる期間を2年間から3年間にする件は否決された。)

#### カテ1大会参加資格

PGXCカテゴリー1大会における参加 資格として、これまで世界およびヨーロッ パ選手権では例外が認められていな かったが、認めることとする。

#### ランキングポイント計算

WPRSポイント計算方法を、大会終了後1年が経過すると急激に減額される現在から、より緩やかに減額されるように変更する。「現在は参加人数が多くなると点数が高くなるのを、ある一定の人数以上では変わらないようにする。参加選手の質をより重視する。」との提案は具体性に欠けるため評価できないとのことで見送られた。

### PGアキュラシー

PGアキュラシー競技についての変更 等は下記のとおり。

- □フットウエアーに付け加える突起はゴム製のものに限ることとする。
- □ 6 ラウンドが成立していた場合に、スケジュール通りREST DAYを取ることとする。



総会に各国のデレゲートが集まった。



新FAI事務局長スザンヌ・ショーデル



新CIVL会長ステファン・マルポス

□フォールに関して、不変とする (測定 フィールド外は考慮しない)。

□丘からのテイクオフの場合、高度差を 規定するかに関して、不変とする(高度 差を規定しない)。

### CCC

CIVLコンペティションクラス(CCC)についての変更等は下記のとおり。

□ウエイトレンジを2016年1月1日から90~125kgとすることになっているが、「メーカー (特に弱小)にとって大きな負担となるので、現在の100~125kgを継続する|という提案は否決された。

□ライザーのアクセル・リミッターの素材 は伸縮しないものとすることを追加する ことが承認された。

### PGアクロ委員会提案

PGアクロ委員会からの提案は承認された。

### 生年月日の取扱い

WPRSに生年月日をデーターとして追

加する件は、FAIスポーティングライセンスおよびWPRSポイント計算のために主催者から送られているデーター(fsdbとエクセルファイル)からのみ収集するものとし、個人のプライバシーは尊重することとすることで承認された。

#### 選手権開催地

以下の選手権開催地が承認された。

□2017年HGクラス1世界選手権はブラジル、ブラジリア。女子クラス1競技も行う方向。

□2016年HGヨーロッパ選手権はマケド ニア、クルシェヴォ。

□2016年PGアクロ世界選手権はフランス、アネシー。

□2017年PGアキュラシー世界選手権はアルバニア、フロラ。

□2017年PGXC世界選手権はイタリア、ペダヴェナ。

#### 表彰

HGディプロマはフランスからの推薦

(イカロスカップを41回主催したダニエル・レボン・ペルノ)を承認。

### 役員改選

会長:ステファン・マルボス(フランス) 副会長:イゴー・エルゼン(スロベニア)、 ゴラン・ディミスコフスキ(マケドニア)、エ イドリアン・トーマス(イギリス)、ワヒュー・ ユダ(インドネシア)

事務局:ジェイミー・シェルデン(アメリカ) 財務:ゼリコ・オヴカ(セルビア)

### 委員会委員長

HG: ジェイミー・シェルデン PG: エイドリアン・トーマス

PGアキュラシー:ヴィオレッタ・マステイキ

エン(リトアニア)

PGアクロ:クラウディオ・カタネオ(スイス)

#### 次回総会

2016年のCIVL総会は、規定によりスイス、ローザンヌで開催する。

### JHFの動き

### 全国PGパイロットセミナー 安全にフライトを楽しむために

初心者からベテランパイロットに新しい情報を伝え、また近年の事故情報などの資料を基に安全にフライトするためのアドバイスや再教育を行うことを目的として「JHF全国パラグライダーパイロットセミナー」を全国10ヶ所で開催、204名の方に受講いただきました(開催地は前号P4を参照)。

セミナーの内容は、適正なグライダー の選択、最新テクニックと機材メンテナン ス、パラグライダーの基礎知識、事故統 計、スポーツに必要な医学的知識、無線



徳島県でのパイロットセミナー



静岡県でのパイロットセミナー

の利用方法について、エリアで見かける 危険なパイロット。

たいへん好評で、また開催して欲しい 等のご意見もあり、今後も引き続き安全 についてのセミナーを開催していく予定 です。まだ受けていない方、再度受けた いという方も、ぜひ受講してください。セミ ナーの予定はJHFレポートやJHFウェブ サイトでご案内していきます。

### 2015年JHF定時総会を開催 傍聴のご案内はウェブで

6月23日(火)に、2015年のJHF定時 総会を、東京体育館(東京都渋谷区千 駄ヶ谷1-17-1)会議室で開催します。

傍聴をご希望の方は、後日JHFウェブサイトでご案内しますので、そちらをご覧のうえ事務局にお申し込みください。インターネットを利用できない方は事務局までお問い合わせください。

### 2016年JHFカレンダー写真を募集 季節感のある写真・楽しい写真を!

2016年JHFカレンダーに使用するために、ハンググライダー、パラグライダーを 中心にした季節感のある写真や楽しい 写真を募集します。

ご応募いただいた作品の中から、表 紙と1月から12月までの各月分の合計 13作品を採用して2016年カレンダーに 使用する予定です。

賞金はありませんが、採用させていた だいた方にはカレンダーを10部ずつお送 りします。

カレンダーは一般に販売するほか新聞社や他のスポーツ団体、行政機関等にも配布しているものです。ぜひご協力をお願いいたします。

応募方法等はJHFウェブサイトのト ピックスをご覧ください。

### USHPAから表敬訪問

4月3日、アメリカUSHPA(UNITED STATES HANG GLIDING & PARAGLIDING ASSOCIATION) からMartin Palmaz Executive DirectorがJHF事務局に表敬訪問に来られました。米国のフライヤー人口も約1万人。高齢化が問題となっているそうです。今後も情報共有をしていきます。



左から内田孝也会長、USHPAのMartin Palmaz氏、殿 塚裕紀理事

### より楽しく安全に飛ぶために必要なこと。

JHF安全性委員 伊尾木 浩二

まもなくゴールデンウイーク。盛りだくさんのフライト計画を立てている方もいらっしゃるでしょう。

春といえば気流が荒れる季節です。 上昇気流も強く、風も急激に変化したり、 こういった気候の中で、少しでも安全に 飛ぶためにはどういう心がけが必要か を記載します。

### 1.自分の技術レベルをしっかりと見極める。

自分の技術レベルがわからない、自分自身の判断で飛ぶことに不安がある場合には、日中の11時~15時はフライトを避けること。または、インストラクターの指導下で講習生がフライトしているときに飛ぶという選択技があります。

欧州では、こういうフライト判断をされている方を見かけます。団体、ツアーの時も同じです。

## 2.キャノピーが70%潰れても落ち着いてリカバリー(回復)させる自信があるかどうか?

荒れた気流の中で飛ぶ、遭遇した場合には、翼が潰される確率は一気に高まります。大事故を引き起こす原因である潰れは、しっかりと回復させる技術が無いと、そのまま墜落、レスキューパラシュートにお世話になることになります。潰れからリカバリーをさせる自信が無い場合には、1と同じ選択技で飛ぶべきでしょう。

### 3.天気図から気象条件をしっかりと 見極められるかどうか?

地上天気図、高層天気図、極東天気図の3種の天気図で気象条件を見極めることができ、なおかつ現地の風の予報、最低気温、最高気温を確認して、フライト当日の日照と雲の様子をみれば、ある程度、気流の様子をイメージできるようになります。このイメージがまったくつかめない場合には、1と同じ判断。少しはわかるという方は、さらに勉強をしてください。

### 4.GPSは持っていますか? 使いこなしていますか?

GPSで一番大切なことは、風の強さを 見極めること。これがGPSを持っていて もわからない場合には、1と同じ判断とな ります。

GPSは対地速度を表示します。 30 km/hを目安基準とし、実際の速度表示を差し引けば風速が時速で計算できます。たとえば、GPS表示が14 kmと表示すると30 km/h-14 km/h=16 km/hが実際の向かい風の強さとなります。

 $16 \text{km/h} \div 3.6 = 4.44 \text{m/s}$ に換算することもできますが、フライト中に3.6で割ることは難しいため、私は4で割ります。そうすれば、最低4 m/s以上の風が吹いていることがわかります。

低空、上空、山沿いでの地形変化、 時間に対して変化する割合を常に頭 で記憶していきます。参考目安として GPS表示10km/hを表示した場合には 5 m/s以上の風が吹いていることにな り、危険度は高く、ランディングする心構 えが必要です。またGPS表示 5 km/h を切った場合には、目標地点を登録していないと前進しているか後退しているか わからない状況となり、かなり危険な状況になります。アクセルも必要となり潰されるリスクも高くなります。低空で潰されると大事故になりかねません。

風が強い時には乱気流も多く、潰されるリスクも高まるため、常に風の状況を見極める必要があります。サーマルエリアでは、十分にこの判断を生かして安全に飛んでほしいと思います。但し、海風エリアでは風の質の違いから、この判断の見極めは異なります。内陸、サーマルエリアでは十分理解して、判断して飛ぶ必要があります。

### 5.フライトを断念できるかどうか?

パイロット技能証を持っている方は、フライトを断念できる判断があってこそパイロットです。荒れている気流を知っていながらフライトしても決して楽しく飛べるわけではありません。事故、怪我をされた方がよく口にするのは『飛ぶんじゃなかった』。この状況では飛ばなければよかったと後悔をしても遅いのです。

テイクオフの風が悪い時も同様。安全で 楽しく飛べるときにフライトをしてください。

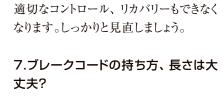
毎年、事故が多発するゴールデンウ イーク。今年は事故が起きないことを 願っています。

楽しく安全なフライトには、風を読むだけでなく、機材の状態を整えることも大切です。

### 6.ハーネスのセッティングは大丈夫?

ハーネスのセッティング、構造をしっかりと見直しましょう。間違ったセッティングをしていたり、セッティングがズレてしまい気づかずに飛んでいる方も多いです。

ハーネスのセッティングが悪いと、潰された時の体に対する挙動が大きくなり、適切なコントロール、リカバリーもできなくなります。しっかりと見直しましょう。





いつでもどこでも安全マージンを十二分にとりたい。フィリピンでのアキュラシーワールドカップより(P14に記事)

ブレークコードの長さは、メーカーから 出荷された状態だと、上級機を除いて 長いことが多いです。特にAクラスは操 作性からより長く感じます。ブレークコードは経年変化で多少短くなることがある ため新品時は長めなのです。これを考 慮して短くする、またはブレークコードを 手に巻いて、コンタクトポイント(ブレーク 操作が機体側に伝わる位置)が適正に なるようにすることも重要となります。

ブレークコードを巻く場合には、ブレークグリップの形状、グローブの大きさを考慮した巻き方をします。巻くことがすべて良いわけではありませんが、巻く場合には機材のモデル(機体とハーネス)と体格(座高、腕の長さ)によってコンタクトポイントのポジションを決めるため、ブレークコードの巻き方をアレンジする必要性があります。巻き方に関してはインストラクターまたはベテランパイロットに必ず聞いた方がよいでしょう。

ブレークコードを巻くことによるデメリットもあります。たとえば、万が一の時にレスキューパラシュートのハンドルを掴む場合、ブレークコードから手が離れにくくなります。また、フライト中に巻く場合には、巻くタイミングが悪いと潰されることがあるので、状況を常によく理解して行動する必要があります。

安全に飛ぶ努力をしていても、レスキューパラシュートを開くような状況に陥ることは皆無ではありません。

この1月末に、レスキューパラシュートを投げたが、開傘しなかった事例が報告されました。運良くグライダーが回復し、パイロットは開傘しなかったパラシュートを手繰り寄せ、ランディングに無事戻ったそうです。開かなかったパラシュートは新品でした。現在、安全性委員会で原因を調査中です。

### レスキューパラシュートを投げても開かない場合の措置について

各メーカーの取り扱い説明書には記載されていますが、JHF教本には開傘しない場合の記載がありませんでしたので、ここで紹介します。

- ・ブライダルを大きくシェイクする。
- ・それでもだめならブライダルを手繰り 寄せて再度パラシュートを投げる。
- ・あるいは、その際にデプロイメントコン テナをほぐす (中身の本体を引き出す ことはしない)。

### 【リパック認定証所有者へのお願い】

- ・新品のレキューパラシュートでも必ずリパックを行ってください。
- ・リパックの際には、レスキューパラ シュートの自重で閉鎖ゴムが外れるこ とを確認してください。

### JHF総合保障制度2015年度募集スタート

フライヤー自身の怪我などに備えるためのJHF総合保障制度の今年度募集が始まりました。以下は東京海上日動火災からJHFフライヤー会員の皆様へのお知らせです。

東日本大震災から4年が経ちました。被災された地域の皆様、そのご家族、関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、復興に向けご尽力されている関係の皆様方に敬意を表するとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

### ■『JHF総合保障制度』とは

任意でご加入いただくフライヤーの為の傷害保険です。搭乗中はもちろん、お 仕事中も補償されます。また、地震、噴火 またはこれらによる津波等の災害による おケガも対象となります。

ご注意いただきたいのですが、フライヤー登録をすると自動加入されるのは 第三者賠償責任保険です。本保障制度はあくまでも任意でご加入いただく必要がございます。

#### ■2015年度募集がスタートします

今年度で10年目を迎える本保障制度 は、2015年3月1日現在800名強の会 員の皆様にご加入いただいております。

まずは、引き続き安全なフライトをお 心がけいただき、事故なくおケガなくフラ イトを楽しんでいただくことが大切です が、万が一の時のための支えとして、本 保障制度をご利用いただけますようお 願い申し上げます。

### ◇JHF総合保障制度の特徴

・国内外を問わず、パラグライダー

(含むモーターパラグライダー) 搭乗中は もとより、お仕事中や日常生活中のおケ ガ、および遭難の際にかかった捜索費 用等の補償を致します。

- ・地震、噴火またはこれらによる津波 での傷害についても補償対象となります。 (この場合は救援者費用保険金につき ましては対象となりませんのでご注意下 さい)
- ・団体割引5%が適用されますので、保険料が割安です。
- ◇現在ご加入の皆様へ

更新のご案内を4月上旬に郵送させ ていただきました。大切なお知らせです ので、書類到着後、必ず内容のご確認 をお願い致します。その上で、以下ご対 応をお願い致します。

□プランに変更あり

期日までに訂正の上ご返送ください。

□プランに変更なし

自動動継続となります。ご返送不要です。

□ご解約

必ずご返送ください。

### ◇新規ご加入の皆様へ

ご加入をご希望される場合は、同封のパンフレット等をよくお読みいただきお申込みください。

※締切厳守…5月8日(金)必着

### 【保険に関するお問合せ先】

東京海上日動火災保険代理店 (株東海日動パートナーズTOKIO 池袋支店

₹170-0013

東京都豊島区東池袋1-35-3 池袋センタービル10階 Tel03-3907-4622

フライヤー登録と同時に加入する保険(第三者賠償保険)では、 で自身のおケガは補償されません!





コロンピアで開催、第14回パラグライディング世界選手権のゴール。

### 第14回FAIパラグライディング世界選手権

### 平木啓子、銀メダル獲得!

1月10日~24日 コロンビア ロルダニージョ 報告:チームリーダー 岡 芳樹

14回目となるパラグライディング世界 選手権は、2015年1月10日から24日の 日程で、南米コロンビアのロルダニージョ で38ヶ国、148人の選手の参加を得て 開催された。

日本からは、チームメンバーとして呉本圭樹、成山基義、上山太郎、平木啓子、植田真吾の5名に、個人タイトルを狙う廣川靖晃の計6名が参加した。植田、廣川の両選手は世界選手権初参加であった。

このエリアは、テイクオフの南北に山脈が走り、20kmほどの対岸にも少し低めの山脈が南北に走っている。その間がフラットな平野で、真ん中を川が流れている。タスクは南北に80km、東西に20kmの範囲を使って、フラットをどう飛ぶかで勝負が分かれるような設定で行われた。

エリアの特色はフライト確率の良さで、朝方まで雨が降っていたとしても昼前にはサーマルバンバンのコンディションになってタスクができてしまうことだ。実

際、今回フライトができなかったのは12日間で2日のみ。しかもタスク距離は最短でも45km、最長では123kmと多くの長距離タスクが成立し、ゴール者が60%を超えるタスクが7本と、素晴らしいタスク内容であった。

今大会で悩まされたのは、当初予想していた野焼きサーマル使用の禁止措置ではなく、大会が始まって途中から、火山の噴火の影響で監視用の航空機が大会で使用する空域の北の方を飛来するとの理由で、上がれる高度を2700mから2400mに下げられてしまったことだ。この高度制限には結構悩まされ、実際ペナルティでゼロ点になった選手も少なからずいた(日本選手の中にも、奇跡的に2400mまで上がったログが記録されていて事なきを得た者もいた)。今後は飛行制限空域が多くなる傾向と思われるので、選手は注意が必要だ。

またもう一つの問題は、今年からカテゴリー1大会に導入されたスコアリング

でのFTVシステムだ。これは、簡単に言うと、選手本来の飛びができなかったタスクに関して(たとえば今回のように)4本に1本落とせるシステムなのだが、ほとんどの選手がよく理解していない代物で、総合ランキングが結果発表まで見当がつかないというシステム。それでも、1本の失敗が命取りにならないので、最後まで望みをつなげるという点では良いのかもしれないが、選手も観客もランキングがスコアが出るまで分からないのはいかがなものかとは思う。

競技内容としては、さすが世界選手権だけあって世界の強者どもが全員集合している感じで、日本ではありえないしワールドカップでもないほどのスピードレースで、ソアリング時以外はアクセルべた踏みでなければ置いて行かれるレース展開であった。

### 成績

#### [総合]

1位 オノラン・アマー (フランス)



パレードする日本チーム。平木選手が日の丸を手に。



テイクオフでのパイロットブリーフィングでタスク発表。



ヘッドクォーターで日本チームの選手登録。



グライダーを運び上げるのは……馬!



ゴールでウエイト確認。重さは大丈夫?



次々にテイクオフ。南北(左右)に80km、東西に20kmの範囲がレースの舞台。

2位 ミハエル・マウワー (スイス)

3位 トルステン・シーゲル(ドイツ)

16位 呉本 圭樹

49位 上山 太郎

67位 廣川 靖晃

74位 平木 啓子

83位 植田 真吾

104位 成山 基義

[女子]

1位 福岡 聖子 フランス

2位 平木 啓子

3位 ニコル・フェデレ イタリア



総合表彰。オノラン・アマーが世界一の座を獲得。

### [国別]

1位 ドイツ

2位 スロベニア

3位 スペイン

13位 日本



女子表彰。左から平木、福岡、フェデレ各選手。



国別優勝はドイツチーム。フランス三冠ならず。

### 女子準優勝の平木啓子選手から

今回は、自分はすこぶる好調、提供していただいているグライダーは最高のパフォーマンスのもの、といままでにない好条件での参戦でした。悲願の優勝を!と気合いを入れて臨んだのですが、序盤にミスを連発し、一時は10位まで成績を落としてしまいました。

でも自分に起こったことは他の人にも起こりうる、それに自分の調子は決して悪くないと、自分を信じて飛び続けることで後半にぐんぐん巻き返し、最終日で2位に浮上して銀メダルを獲ることができました。優勝できなかったのは残念ですが、どん底からの銀メダルですので、正直とても嬉しいです。

日本から応援してくださいました皆さん、本当にありがとうございました。これからも更なる躍進を目指して頑張り続けたいと思います。



### 第20回FAIハンググライディング世界選手権

# 個人・団体ともにイタリアが勝利。 2月28日~3月13日 メキシコバジェ・デ・ブラボー 報告:チームリーダー 北野 正浩

今回のクラス1世界選手権開催地 は、首都メキシコシティから車で3時間 ほどの保養地。町並みは美しく、人々は 親切で、涼しく過ごしやすい気候だ。昨 夏に誘拐事件が頻発したという情報が あり不安を抱いての現地入りだったが、 至るところに配置された軍と武装警官に よる万全の警備で、犯罪に巻き込まれる 不安は全く感じなかった。アウトランディ ングをしても、村人、特に子供が沢山集 まってきて、日が暮れると必ず数人が一 緒にいてくれたので、選手が危険にさら されることはなかった。

標高の高いエリアで、テイクオフは 2300m、周囲の山はさらに高く、3000m を超える場所も多い。サーマルで4000m 前後まで上昇しても対地高度が取れ ず、我慢の展開になることが多かった。 3.000m以上の山の上の牧場に降りた選 手もいた。空気が薄く低速時の操縦の 効きが悪いうえ、傾斜地への着陸を強い られることも多く、近年の世界選手権の 中でも危険度は高い印象を受けた。機 体破損や負傷によるリタイヤが続出する 中、日本代表は負傷者も出さず、スペア パーツもほとんど使わなかった。

今大会で特筆すべきはライブトラッキ ングだ。全選手にライブトラック機能付き GPSバリオが貸与され、選手の動きを逐 一追えることはもちろん、得点集計にも 使用され、大会本部でトラックログを提 出しないで済んだ。携帯電話の圏外で データが不充分な場合は計器からデー タを提出することも可能だ。この方式が 実績を積んで洗練されていけば、今後 の大会運営は大いに変わるであろう。

日本代表の成績は残念ながら振るわ なかった。団体で13位、個人の最高位 は30位。個人優勝はイタリアのクリスチャ ン・チエク。団体もイタリアが4連覇した。



日本チーム。標高が高く空気の薄いエリアに苦戦した。

好成績の選手や国は、プレ大会に多数 の選手と地上スタッフが参加し、エリア の特性と現地での生活を熟知した上で 大会に臨んでいる。日本代表で最も安定 した成績を残した砂間選手も、プレ大会 参加の経験が生きたと考えられる。

日本のパイロットの実力が世界と比べ て大きく劣るわけでは決してない。エリ アへの慣れ、情報力、地上サポート力と いった要素が、タスクの難所を超えられ るか否かという場面で紙一重の差を生 み出すのである。大会が終わる頃になっ て「ようやくエリアに慣れてきた」という台 詞を聞くのは毎度のことであるが、好成 績を求めるのであれば、プレ大会に多数 の選手が出場することは必須である。こ のことも考慮して、競技委員会では代表 選手の選抜を1年早める決定をした。 プレ大会の前に選手を決め、チームとし てプレに参戦できる条件を整えるのが狙 いだ。次回ブラジル大会の先を見据え て、今後もハング競技の発展を目指して いきたい。

最後になるが、今回も「ハングエイド」 Tシャツ販売の収益により多額の遠征費 を支援いただいた。ご協力くださった全 ての皆様に感謝の意を表する。

### 成績

### [総合]

1位 Christian CIECH イタリア

2位 Boisselier ANTOINE フランス

3位 Christian VOIBLET スイス

30位 砂間 隆司

49位 鈴木 由路

50位 太田 昇吾

70位 外村 仁克

73位 牟田園 明

77位 大沼 浩

82位 石坂 繁人

85位 岡田 伸弘

### [国別]

1位 イタリア

2位 フランス

3位 オーストラリア

13位 日本



ゴールでも場外でも子供がたくさん集まってきた。



チーム内で最も安定した成績を残した砂間選手。



クラス5でも大活躍のクリスチャンが世界一に。

### 2014年クロスカントリーリーグ

### 中里勝、田中元気が年間チャンピオンに。

楽しく安全に、かつ緻密に大胆に。

2014年1月1日から12月31日までのフライトで、2014年クロスカントリー(XC)リーグの年間チャンピオンが決まりました。今回は、パラグライディング上位のほとんどのフライトが足尾山をはじめとする関東のエリアから北上のコース。ハンググライディング1位も足尾山から山形県南陽市へのフライトでした。

桜前線が北上し、XCシーズンまっただ中。このJHFレポートがお手元に届く頃、また新しい記録が出ているかもしれません。

### パラグライディングXCリーグ

1位中里勝合計309.4km2位二三四藤昭合計288.3km3位中目 みどり合計279.5km最長飛行五位渕孝幸132.7km



■事故のないように遠くへ 1位 中里 勝

2014年は、100kmを一番乗りで飛ぶことができました(3月9日)。周りから「おめでとう」と言われると、今年は行けそうだという気になって、XCに出られそうな時はエイヤーと出たことも、泣いたり、笑ったりです。

4月には、明日は条件が良さそうだしと頑張って仕事をしていたら、左手首を怪我。この後のXCに期待して安全を第一に焦らずに行こうと、土日は回収にまわりました。この週にいい記録を出した人もいました。秋のXCはほとんど出られずに終わってしまったのが少し残念でした。

2015年はコンディションやコース取り、サーマルの乗り継ぎなどを読めるように、フライトに集中して距離を伸ばせるように頑張りたいです。足尾は南に西にと楽しいので、西にチャレンジしてみたいと思います。

XC研究会、回収班、一緒に飛んでいる仲間、皆さんのおかげで楽しく飛んでいます。これからも事故の無いように、できるだけ遠くに飛んで行けたら幸いです。

### 岡芳樹PG競技委員長から

2014年度はXCリーグに26名が参加し、72本のフライトを申請した。人数的には毎年ほぼ同数の選手が参加している。本数はここ数年わずかに減少している傾向。2013年は、XCのメッカと言われる茨城県の足尾エリア以外からのフライトも数多く行われたが、2014年はまた足尾が全フライトの87%となり、他のエリアでの活動があまり活発ではなかったことがうかがえる。

2014年において2本のフライトが飛行禁止旧域に入ったことで無効扱いとなっている。大事には至らなかったものの、これまではあまり意識してこなかったパイロットも多いのかもしれない。世界的にXCタイプのコンペにおいても飛行禁止空域が設けられることが多くなっており、空を共有するものとして、今後は十分注意してフライトするようにしてもらいたい。

### ハンググライディングXCリーグ

1位 田中 元気 201.32km



■目標や憧れに向かって1位 田中 元気

昨年は、春の4月、5月とクロカン時期にとても良い条件が続き、毎週のように記録が出るような日がありました。その中でも最高の条件が4月26日土曜日に来て、3,000m以上上がることと、関東から東北まで風が弱い条件の中で、足尾から十分一への201kmのクロスカントリーフライトをすることができました。

クロスカントリーフライトは、自分の行き たい方向へ、高く上げてはドンドン進む。 見知った風景、初めての風景、憧れの 風景を望みながら。

私は猪苗代湖畔に飛んでいくことが一つの目標で、鏡のように綺麗な水面を 空から観ることができて本当に感動しま

気象条件が非常に重要になるクロス カントリーですが、行ってみなければわか らないってこともあります。

皆さん個人個人の目標や憧れがある と思います。自由に飛び回れるのがクロ スカントリーフライトの醍醐味だと思いますので、安全に気をつけながら楽しみましょう!

また今年も日本記録を狙って飛び 立って行きたいと思います。

### 板垣直樹HG競技委員長から

クロスカントリーフライトはハングやパラ にとって最も魅力的なフライトの一つだ。

やっとソロフライトした講習時代から必ずランディング場に安全に着陸してきたパイロットが、いつものフライトエリアを離れそれぞれの記録に挑戦するクロカンは、安全なスポーツとして確立された中で唯一の冒険と言っても過言ではないのかもしれない。

2014年のクロカンリーグで足尾エリアから田中元気選手が山形県までの201.32kmのフライトを行った。

過去にも宮城県までの200kmはあったが山形県南陽市まではこのフライトが初めてだ。

リーグには登録していなかった塩野正 光選手も同じ日にクラス 5 機で210kmの 山形市までのフライトをしている。

先にハング・パラグライディングフライトの唯一の冒険と言ったが、実は彼らや 先人たちの地道な下調べやフライトの 積み重ねによって、知識や技術の上で は安全性も兼ね備えた記録だと言える だろう。

国内の最長記録は、氏家良彦選手が2005年に岡山県大佐エリアから飛び立った213.7kmだが、近い将来、この記録を越えることを期待したい。



いつか飛んで行きたい、そんな目標に向かって。

### アキュラシーで究極のコントロールを。

2015年アキュラシーワールドカップの 第1戦が、フィリピンのミンダナオ島南部、 ジェネラルサントスの南20kmのサフィラ ンチエリアで、3月28日・29日に開催され ました。マレーシア、日本、インドネシア、中 国、スペイン、タイ、フィリピン、シンガポー ル、韓国、カナダ、台湾、パキスタンから 48名の選手が参加。唯一の日本選手は 元アジアチャンピオンの岡芳樹さん。昨 年惜しくも逃した優勝を今年こそ!と、熱 い闘志をたぎらせ参戦しましたが、結果 は2位。雪辱を来年に持ち越すこととな りました。

帰国してすぐ、PG競技委員長として 足尾の大会に向かう岡さんに、今回の ワールドカップのこと、アキュラシー競技 について聞きました。

◎国内外のアキュラシー大会に積極的 に参加している岡さん、今回のワールド カップはフライトコンディション以外は楽 しめた様子。

「エリアは、テイクオフがだだっ広くて、ラ ンディングがめっちゃ広い。昨年は5本 飛べたんだけど、今年は朝のうちから風 が強くて2日で2本だけ。多くの選手が



イクオフからランディング(画面中央)を望む。

風に翻弄されマキシマムスコアを連発、 2本ともパッドを踏んだ選手が皆無とい う残念なコンディションでしたが、それ以 外は最高のイベントでした。来年も開催 の予定なので、次回こそ優勝したいで すね。」

◎ハンググライダーで初飛行してから40 年余ハング・パラグライディング競技に関 わってきた岡さんは、アキュラシー競技 歴8年。日本にアキュラシー競技を紹介 した張本人だが、アキュラシーに目を向 けた理由は?

「海外からの情報でアキュラシーを知っ て、この新しい種目が日本のパラグライ ディングの活性化につながるのではない か、と。個人的には、これなら日本代表と して世界選手権で勝負できる!と。」

◎アキュラシー競技は着陸の精度を競



気合いの入った(?)選手たち。左端が岡さん。

い、数分のフライトで勝敗が決まる。たっ たひとつのミスで、頂点から一気に転げ 落ちることもある。

「アキュラシーは究極のグライダーコント ロールというか、力が必ず結果に出る。 クロスカントリー競技はミスを挽回できる 可能性があるけれど、アキュラシーはひ とつ失敗すると、命取り。『勝負好き』とし



ターゲット中央のパッドを狙って勝負……残念!思ったよりのびなかった。



目の前に海が広がるテイクオフ。地面がダートなのが玉に瑕。



強風で2本しか競技できなかったが、選手一同楽しんだ。

ては、そこがたまらなく楽しいですね。」 ◎日本のアキュラシーリーグも7年目。 各地の大会で『勝負』する選手たちの 平均年齢はクロスカントリー競技に比べ て高く、50代、60代の選手の活躍がめ ざましい。

「クロスカントリー競技だと、1フライト2、3時間。世界選手権ともなればそれが1週間以上続く。ある程度年をとると、肉体的にも精神的にも保たないです。でも、アキュラシーなら世界を舞台に勝負できるんだから、熱くもなります。大会に出るために、あまり人が行かないようなところに行くのも、楽しみのひとつ。今回のミンダナオ島みたいにね。」

◎ターゲットの中心に置かれたパッドの中央を踏む。とてもわかりやすい競技だが、勝つために必要なことは?

「まず、自分のグライダーの特性を知る、

特にストール特性をよく知ることが重要。パッドを狙いすぎてストールさせないように、特性を頭だけではなく体に叩き込む。もちろんグライダーのコントロールを確実にマスターすることが前提。メンタル強化も課題ですね……自分はメンタルに関して何もしていないけど。」

◎世界を舞台に戦うのは、やはり簡単な ことではないが、気軽に参加できる国内



総合表彰。1位サウリアント(マレーシア)、2位岡、3位ニッキー (インドネシア)。

大会もある。

「アキュラシーリーグの大会に出るのは 簡単。どんなものか、まず大会に出てみ てください。実績によってハンディキャッ プがつくので、初めてで慣れていなくて も十分に競技を楽しめると思います。女 も男も老いも若きも、いつでもウェルカム! です。」



女子表彰。1位ナナパット(タイ)、2位シリン(インドネシア)、3位ノルハヤティ(マレーシア)。

### |学|連|二|ュ|ー|ス

日本学生フライヤー連盟(JSFF)の 新理事長となりました、早大4年の工藤 匠悟と申します。

「万物は流転する」古代ギリシアの偉い人のその言葉を、深い意味も知らぬままに教養だからと教えられたのは高校生の頃です。

学生団体というのはとりわけ変化が大きいもので、運営メンバーはどうあっても一年後には全く新しい顔ぶれになってしまいます。しかしその変化は連続的でないことも事実です。目標、反省、そういった大切なことが世代間で分断され、意欲ある学生たちの力が100%発揮されないのは口惜しいことです。

JSFFはこれまでもJHFやインストラクターの皆様、都道府県連をはじめ沢山の方々の力添えをいただいてきました。そして学生からももっとイベントを盛り上げようという機運が高まっています。そうしてそろいつつある歯車をかみ合わせる橋渡しをしてゆけたら、JSFFは大きく飛躍していく予感があります。皆様にこれからも変わらぬ応援をお願いしつつ、就任の挨拶と代えさせていただきます。

今年度、私とともに頑張ってくれる役員を簡単にご紹介させていただきます。 副理事長、山形大の若杉厚志くんと阪 大の吉井丈晴くん。私よりずっと大会経 験も豊富なナイスガイたちです。彼らが すごすぎて私には仕事が残っていない 予定です。 HG審議は近畿大の名草慧くんと東 工大の間中健介くん。爽やかな切れ者 たちなので爽やかな競技規定を期待し ます。PG審議は獨協大の柴田晃輔く んと弘前大の廣田歩武くん。綿密な仕 事ができると噂の二人からは、美しい競 技規定が紡がれるでしょう。

HGリーグは東工大の中山拓哉くん、 鳥大の菊池裕貴くん、農工大の齋藤悠 馬くん。ルールを守る砦として活躍してく れるでしょう。 PGリーグは山形大の佐々 木克仁くん、弘前大の本間渓くん、立教 大の橋本茉子くん、独協大の上野麻那 くん。昨年から一名増員して集計の精 度を上げていくと燃えています。

名簿ML管理、九工大迫田直樹くん、現代の勧進帳です。HP係、東工大の板橋宏樹くんは、JSFFのHP管理に前任者とタッグを組んで取り組んでくれます。会計、早大の御舩剛くん。勘定奉行は彼に任せれば安心でしょう。

続いて今年度開催予定の大会、イベントをご紹介します。

昨年度はPGが静岡県朝霧高原のスカイ朝霧エリアで合宿を行い、HGの新人戦も新たに開催されました。今年度はさらにHGのイベントが増えて6大会3イベントの編成となる予定です。JHF会員の皆様には協力をお願いすることも多々あるかと存じますが、学生一同全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

- □ 8月 尾神岳StudentCup、 砂丘合宿
- □ 9月 nasaStudentCup、 PG合宿(開催地未定)
- □11月 PG新人戦(十分一山)
- □12月 HG新人戦(荒神山)
- □2月 HG学選(龍門山)
- □3月 PG学選(足尾山)、 HG合宿(開催地未定)



昨年度は静岡県朝霧高原でPG合宿を行った。



昨年度、HG新人戦を新たに開催。

### JHFからのお知らせ

### ■PG教本基礎技術DVD頒布中

基礎技術DVD「JHFパラグライディング教本基礎技術」、続いて第2弾「テイクオフとランディング」を頒布しています。

「JHFパラグライディング教本基礎技術」には、JHF教本のA・B級からクロスカントリーまで各課程を修了するために求められる基本的なフライト技術について、ベテラン教員による模範演技を収録しています。実際の飛行での操作を、複数の方向から近接撮影したものが2画面で表示され、各操作での動きをはっきりと見ることができ、判りやすく表現されています。リアライザーコントロールでの引きしろとブレークコードでの場合との違いや、A・Bストールを行ったときの翼の変形の様子などもわかります。

第2弾は、フライトの基本中の基本であるテイクオフとランディングを収録しており、フロントライズアップの基本から場周アプロートによるランディングまで、各操作のポイントをつかみやすい内容になっています。

### 価格・申込方法:

頒布価格はそれぞれ1枚1,500円(送料込)で、お申し込み10枚毎に2枚追加してお送りします。入手ご希望の方は、最寄りのスクールでご購入いただくか、JHFウェブサイトにて注文書をダウンロードのうえお手続きください。

### ■JHF備品を貸し出しています

JHFでは下記備品の貸し出しをしています。ご希望の方は「JHFウェブサイト」→「JHFのご案内」→「無線機その他備品貸出」より貸出依頼書をダウンロードし、必要事項を記入・入力して、FAXかメールでお申し込みください。備品の返却にかかる送料はご負担をお願いします。

### ◇自動体外式除細動器(AED)

公認大会やイベント主催者に無料で貸し出し。申込条件:消防署や日本赤十字社等のAEDを使った救命法講習会を受講した方がいること。

### ◇ポロジメーター

パラグライダーキャノピー等のエアー 漏れを計測する機械。スクール・クラブ等 を対象に貸し出し。貸出期間は2週間 以内。貸出料5,000円。

### ◇スカイレジャー航空無線機

スカイスポーツ専用の周波数で使う無線機(465.1875MHz)。JHF会員を対象に、大会やイベントでのご利用のために貸し出し。貸出料は1,000円/台。申込条件:ご利用者の中に「第三級陸上特殊無線技士」免許を持ち、JHF無線従事者に登録している方が1名以上いること。

### ◇アルコール検知器

大会やイベント主催者に無料で貸し出し。前夜の飲酒がフライトに影響することもあります。事故防止のために導入しました。ご利用ください。国際航空連盟(FAI)もアンチドーピングの禁止物質にアルコールを指定しています。

#### ■住所変更届けのお願い

JHFからお送りした登録更新案内や JHFレポートが「転居先不明」等で多数 戻って来ます。また、登録更新のための 会費送金手続きをコンビニでされた方、 会費を口座振替にされている方へお送 りした会員証も多く戻って来ています。 コンビニから送金の場合は、払込票に新 しいご住所をご記入いただいても控え が事務局に届きません。銀行口座振替 の場合も住所変更の連絡は来ません。

住所を変更された方は、お手数ですが、下記項目をメール、FAX、郵便などでご連絡ください。

フライヤー会員No. / お名前/変更 後のご住所/連絡先電話番号/メー ルアドレス

### ■カレンダー用写真を募集

5ページ「JHFの動き」に掲載したとおり、2016年JHFカレンダーに使用するために、ハンググライダー、パラグライダーを中心にした季節感のある写真や楽しい写真を募集します。

応募作品の中から、表紙と1月から 12月までの各月分の合計13作品を採用 して2016年カレンダーに使用する予定 です。ぜひご応募ください!

### デジタル無線機は登録済みですか?

デジタル無線機をご使用の皆様、無 線機の登録手続きは、お済みですか?

JHFでは、ハンググライダー・パラグライダーの飛行中の使用無線機として、デジタル無線機を推奨しています。

現在、国内で飛行中に使用できるデ

ジタル無線機「携帯型デジタル簡易無線機登録局(上空利用)」は、スタンダード(STANDARD)のVX-291SとVX D450Sの2機種です。これらは簡単な登録手続きだけで利用できます。

既に購入、使用されている皆様も、必ず登録手続きを行い、利用料を払って 運用してください。

登録申請をしないまま無線機を運用すると、不法無線局として処罰対象になります。うっかり登録忘れのないよう、ご確認をお願いします。

\*各地区通信局では警察と共同で「不 法無線局」の取り締まりを行っています。 不法無線局を開設したり運用したりする と、1年以下の懲役または100万円以 下の罰金に処せられます。

### ■各種お申込みやお問合せは JHF事務局へご連絡ください。

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

₹114-0015

東京都北区中里1-1-1-301

TEL.03-5834-2889

FAX.03-5834-2089

E-mail: info@jhf.hangpara.or.jp http://jhf.hangpara.or.jp/

\*賛助会員からのお知らせを同封しています。また、神奈川県在住の方には神奈川県ハング・パラグライディング連盟からのお知らせも同封していますので、ご覧ください。

### 東日本大震災被災地 復興応援プロジェクト 「空はひとつ」

東日本大震災被災地への義援金を 引き続き募っています。

### ◇義援金振込先

三菱東京UFJ銀行(銀行コード0005) 巣鴨支店(店番号770)

口座番号 普通 0017991

口座名義 公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

### JHFレポート209号

発行日:2015年(平成27年)4月20日 発 行:公益社団法人 日本ハング・パ

ラグライディング連盟(JHF)

編 集: JHF事務局 印 刷:株式会社美巧社